

3月19日に、豚流行性下痢（PED）再流行防止に向けて防疫研修会を開催しました。概要をまとめましたので、今後のPED防疫対策に活用してください。

## 哺乳豚対策は腸に乳汁IgAを届けること！！

### 対策その1：ワクチン接種

- ・長所：発生農場の沈静化後の免疫維持に効果的（発生農場にこそワクチンが必要）
- ・短所：大量のウイルスに暴露されると症状軽減の効果は減少

### 対策その2：馴致

- ・短所：馴致材料のウイルス量が不明⇒ウイルス量が少ないと免疫賦与されず、多いと流産  
投与時期、方法や成功の可否には知識と経験が必要  
PRRS、豚赤痢などの不顕性であった疾病が顕在化

**\*\* 初乳だけではなく常乳を飲ませ続けることが大切 \*\***

## 農場内のウイルス量を減らすことが被害の低減に！！

### 対策その1：消毒の鍵はアルカリ化

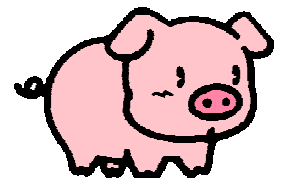
- ・下痢を呈した繁殖豚の分娩豚房に消石灰を大量に使用⇒周囲への拡散防止の効果
- ・市販されている金属腐食の少ない水酸化カルシウム製剤も選択肢の一つ

### 対策その2：人工流産

- ・長所：多量のウイルスを排泄する哺乳豚を断ち切ることで確実にウイルス量が低減⇒分娩舎を空舎にできるので、徹底的な豚舎消毒が可能
- ・短所：流産の処理を行うことは生産者に対して精神的苦痛が増大  
人工流産後のケアを怠ると繁殖成績低下

◆ 今回の研修で、馴致や人工流産はリスクを伴うことが改めて分かりました。

これらを実施する場合は、知識や経験のある獣医師の指導の下、行うことが必要です。



畜産課 TEL 027-226-3111  
西部家畜保健衛生所 TEL 027-362-2261  
利根沼田家畜保健衛生所 TEL 0278-24-3888

中部家畜保健衛生所 TEL 027-261-0314  
吾妻家畜保健衛生所 TEL 0279-75-2240  
東部家畜保健衛生所 TEL 0276-45-2041